

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。そなえる…用意する、そろえる、用心する。防備。常備。完備。不備。具備。兼備。そなえ…したく、用意、警戒、防衛。備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。そなわる…準備ができる、身に付く。●●●ソナエ アレバ ウレイナシク

no. **28**

かわさき
防災広報紙

昭和61年11月30日発行
発行●川崎市
編集●土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



川崎を襲った地震

それは、なんどかありました。

忘れたころに、やってきました

川崎は、近年大地震に襲われることもなく、大正12年の関東大地震でさえ、体験した人も、語る人も、知る人さえも、少なくなっていました。だから、

「それは、遠い昔のできごと。私たちの町は地震に襲われることもないし、安全…」

そんな思いや感覚になってはいないでしょうか。けれども、

歴史をひもといてみると、川崎市に影響を及ぼしたと考えられる地震は、818年以来30回にのぼり、うち川崎市(橋樹郡)に関する記述は、1649年9月1日以降5回あります。いったい、

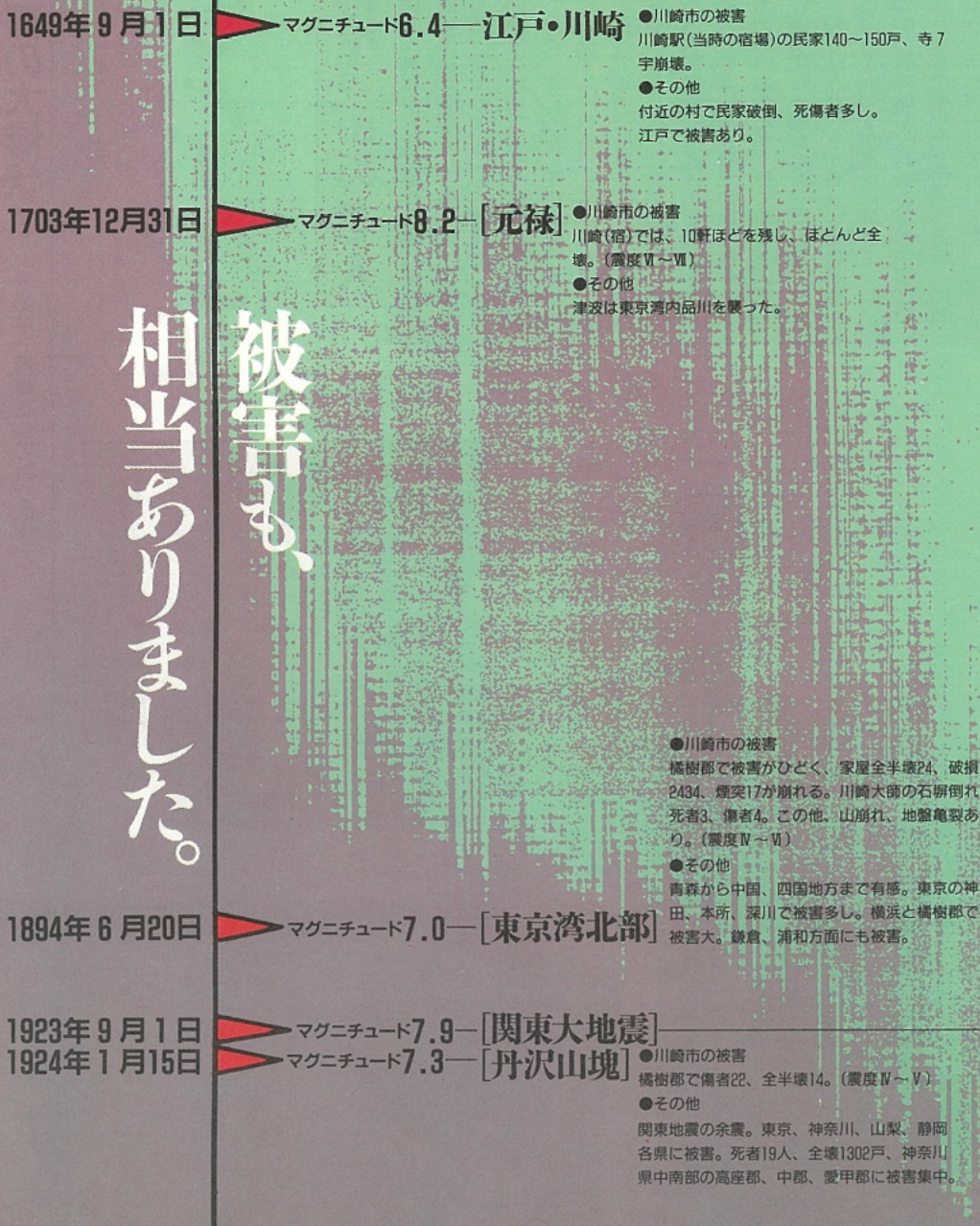
この回数が多いと思うか、少ないと思うかは、人によって感じ方がさまざまでしょう。ただ、私たちの遠い先祖が家屋の倒壊にあい、多くの死者を出したことは、事実です。

地震に、備える——それは、歴史的な事業といえるかもしれませんが、数百年地震がないから、準備はいらぬ…そんな誤った考えは禁物。私たちは、できることから、少しずつ地震に備えていきましょう。

準備はいつから、はじめていきましょう

川崎市における過去の地震被害

川崎市防災会議地震専門部会資料
(被害の概要は、「日本被害地震総覧」(1975)、「理科年表 昭和61年度版」東京天文台編による)



被害も、相当ありました。

1986 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水
12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
★ 毎月15日は川崎市民地震防災デーです ★

じじい、くわい、備える。

防災は、工夫から

暮らしの中の

梅雨とか台風なら、来襲の時期もわかります。降雨の予測もでき、そのシーズンだけ集中的に家の安全点検や、周囲を補強することも可能で、被害もある程度は防ぐことができますが、地震はそんな余裕を与えません。

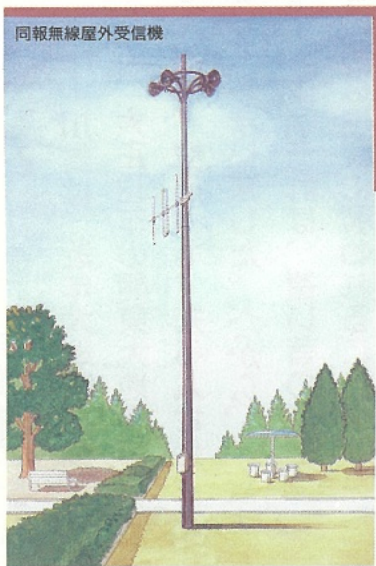
一生のうちで、一度大地震に出会うかどうかだとすれば、私たちの地震対策も長期的な展望に立って、根気よく、気長に、しかも継続してゆかなければなりません。これは大変困難なことですが、特別なこと、実施困難なことだけが防災上必要なのではなく、毎日の生活の中で、ちよつとした工夫、わずかな注意が大地震のとき、わが身を守り、家族を守り、家を守ることにあります。

そのとき、その場でレックス⑧ 自動車の運転中に地震にあつたら

- 徐々に速度を落とし、道路の左側に停車して様子を見る。
- カーラジオで情報を聞く。
- 避難するときは、エンジンを止め、キーはそのままにして、必ず歩いて避難する。

《防災行政無線》

川崎市では、昭和59年度から防災行政無線網の整備を進めています。この無線整備の中で、市からの災害関連情報を市民の方々に直接伝達するため、同報無線（戸別受信機・屋外受信機）を設置します。運用開始は、来年4月で、現在工事を急ピッチで進めておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。



ボサイくん 高井研二郎



- ↓家庭では
- 1 火の元の総点検
 - 2 家具類の転倒防止などの総点検
 - 3 非常持出品などの総点検
 - 4 家庭防災会議をひらく
- ↓自主防災組織では
- 1 役割分担の再認識
 - 2 防災資器材の点検および整備
 - 3 初期消火、情報伝達、避難などの訓練の実施

体験談 その28

「関東大震災記念写真帖」から本書は、本年8月斎藤猪一郎氏により覆刻されたものです
帝都の大惨状！ (表記は一部修正しております)

いろんな

再生三生の老人

神田区表神保町に住むT氏と老人は、第一震で家が倒壊し、下敷となって急を呼んだ。三十分たっても一時間たっても救いが来ないので、もう覚悟をするほかなかった。ところが、その後ようやく巡査や在郷軍人の救援で引き出され、命拾いを喜んで近所で静臥していると、かたわらからこんどは火の手が上がった。命からがら親類目当てに逃げ出したが廻っても廻っても火に向うのでつい追われて反対の側へ逃れたが、行く手の神田橋が焼け落ちて行き場がない。思い切ってお濠へ飛び込んだ。水が暖まっている程の暑さのうえ火の子が盛んに降ってくる。その中、溺死体流れ寄るなど再度覚悟の止むなきに至ったところへ音響しに有りそうに蒲団が一枚流れてきた。天佑なる哉、早速その濡れたの頭からかぶって、一夜中濡らしてはかぶりかぶりして危く助かった。

伝書鳩の殊勲

凶変当夜のことであった。すべての交通機関は途絶して、帝都の消息は更に分らぬので千葉方面ではその消息を得るのに非常に苦しんだ。然るに四街道から教育総監部に派遣されていた野戦砲兵学校連絡将校は直に通信文書を確認して伝書鳩を放った。鳩は猛火を冒して直に四街道に着いたので初めて帝都の大惨状を知り直に応急の策を取った。

ことが

警官の機転で助かった新大橋

新大橋々上に火の子を浴びて一夜をあかした避難者語る、日本橋人形町方面の猛火に追われて新大橋まで逃げ延びて来ると、川向い一面の火で進退きわまつてしまった。橋の袂に頑張った十七、八名の警官が抜剣して、「命の惜しい者は荷を捨て橋へ入れ」と怒鳴っていた。既にあった荷も大川へ放り込んでそこへ人を入れた。続いて本所深川方面からの避難者も陸續と橋上に乗ったので橋の上は立錐の余地もなく人をもつて埋められた。その一夜の不安と恐怖というものは全く言語に絶していたが、幸い一万近くの人々の命が助けられた。これというのも警官が一切の荷物を奪い取って、川に投げ入れた機転のお蔭である」と急に処した警官の態度を賞揚して感涙に咽んでいた。

ありました



上図は松竹キネマ川崎館、円内は多数の死者を出した東京電氣工場 (「関東大震災記念写真帖」(覆刻版)より)

「消火器の悪質な訪問販売にご注意を！」XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX



「防災センターから来ました。消火器の設置が必要です。消火器を買って下さい」
このような悪質訪問販売が横行していますので注意して下さい。



- ★消火器は消防署(所)、役所(防災センター)などでは、訪問販売や点検はしていません。紛らわしい名称や服装に気をつけましょう。
- ★消火器は一般家庭は設置する義務はありません。万一のため、設置しておくことは望ましいことです。
- ★消火器の購入についてのご相談はもよりの消防署(所)、または防災センターへお問い合わせ下さい。

●ご利用、ご見学のお問い合わせは
川崎市南部防災センター
川崎市川崎区小田7-3-1 TEL355-2175
交通=国鉄川崎駅中央口14・21出入口1番のりば 臨港バス富士電機行き小田小学校前下車徒歩6分